

Commercial Graphics Division
Technical Data Sheet

改訂 2017年03月31日
発行 2011年11月01日
スリーエムジャパン株式会社
コマーシャルグラフィックス事業部

**3M™ スコッチカル™ ペイントフィルムシリーズの
印刷、ラミネートおよびカッティング方法**

目次

定義

加工時の作業条件

保管/運搬

印刷加工

- ー推奨プリンタおよび対象フィルム
- ー印刷する際の注意事項

オーバーラミネート加工

- ー対象フィルム
- ーオーバーラミネートする際の注意事項

カッティング加工

- ーカッティング加工する際の注意事項

備考

定義

3M™ スコッチカル™ ペイントフィルムシリーズ カラータイプは、透明アプリケーションテープを貼り合わせた屋外長期サイン用途のマーキングフィルムです。

加工時の作業条件

- ホコリや細かいチリが出来るだけ出ない環境下で作業を行ってください。作業中にペイントフィルムの上や層間にホコリや細かいチリが混入した場合、ペイントフィルムの外観不良につながります。
- ペイントフィルムの裁断作業や保管等の場所を確保し、養生シートやフィルムカット用作業板等を敷いて、ホコリや汚れが付かないようにして下さい。

保管 / 運搬

- ロールの開梱、梱包時に局所的な力が加わらないようにしてください。特にロールの端部は傷つきやすいのでご注意ください。
- 鋭角に折り畳んだ場合、フィルムにダメージが発生することがあります。また、フィルム面を内側にして巻いた場合、ポップオフ（剥離紙からの浮き）が発生しやすいため、移送の場合には、直径3インチ（約7センチ）程度のコアにフィルム面を外側にして緩やかに巻いて下さい。
- 保存期間は1年間ですが、購入から半年以内のご使用をおすすめいたします。
- 以下の条件で保管して下さい。
 - ▶ 開梱しない状態、または初期の包装状態。
 - ▶ 乾燥した屋内で直射日光の当たらないところ。
 - ▶ 結露を避け、温度30℃以下、湿度30～70%の環境下。
 - ▶ ロールを積み重ねたり、部分的な圧力をかけたり、重量物を載せない。
 - ▶ 使用後は速やかに機器から取り外し、元の箱に入れ、湿気を避けて保管。
 - ▶ フィルム面を外側にし、3インチコアに巻きつけて運搬
(フィルム面をきつく内側にして丸めると、アプリケーションテープの剥がれ等に繋がります。)

印刷加工

推奨プリンタおよび対象フィルム

以下対応表をご参照ください。

- 3M™ MCS™ 保証プログラム インクジェットプリンタ対応表
- 3M™ パフォーマンスギャランティー インクジェットプリンタ対応表

上記以外のプリンタで作画した場合、画質が損なわれたり施工時に不具合が発生したりしてしまう恐れがあります。

印刷する際の注意事項

ペイントフィルムに印刷を実施する前に、以下の事項を御確認の上、適切な印刷を実施してください。

- 印刷品質を維持するために、ご使用のプリンタの取り扱い説明書および技術説明書などに従って出力を行ってください。
- 環境（ほこりや潤滑スプレーの使用等）やインクの条件により、スポット状の印刷抜けが発生することがあります。特にベタ印刷の場合、発生が目立ちます。印刷環境管理に十分ご配慮下さい。
- 印刷前のペイントフィルムには指紋、汚れ、傷が付かないようにして下さい。取り扱い時には綿製の手袋等をご使用になることをお勧めいたします。
- 予め実際に印刷を行い、発色および乾燥性を御確認の上御使用下さい。インク濃度が高く印刷後乾燥が十分で無い状態で巻いた場合、印刷面が裏面に密着し、画像にダメージを与えることがあります。可能であれば、250%を濃度の上限としてデータを準備下さい。

- ペイントフィルムはその特性上、柔らかいため以下の事に注意し印刷加工を行ってください。
 - ロールの縁部分に変形しやすく、プリンタのメディア押さえによりフィルムが剥離紙から剥がれてしまう場合があります。そのためメディア押さえを装着する際にはフィルムが捲れ上がらないように十分注意してください。
 - プリンタのピンチローラーの跡が付きやすい傾向にあります。そのため、印刷が終了しましたら速やかにプリンタから取り外してください。
- 表面にインプレッション（表面光沢の斑）が発生する場合がありますが、オーバーラミネートを実施することで解消します。写真1を参照下さい。
- フィルムの詳しい仕様等につきましては、各製品の製品説明書をご参照下さい。

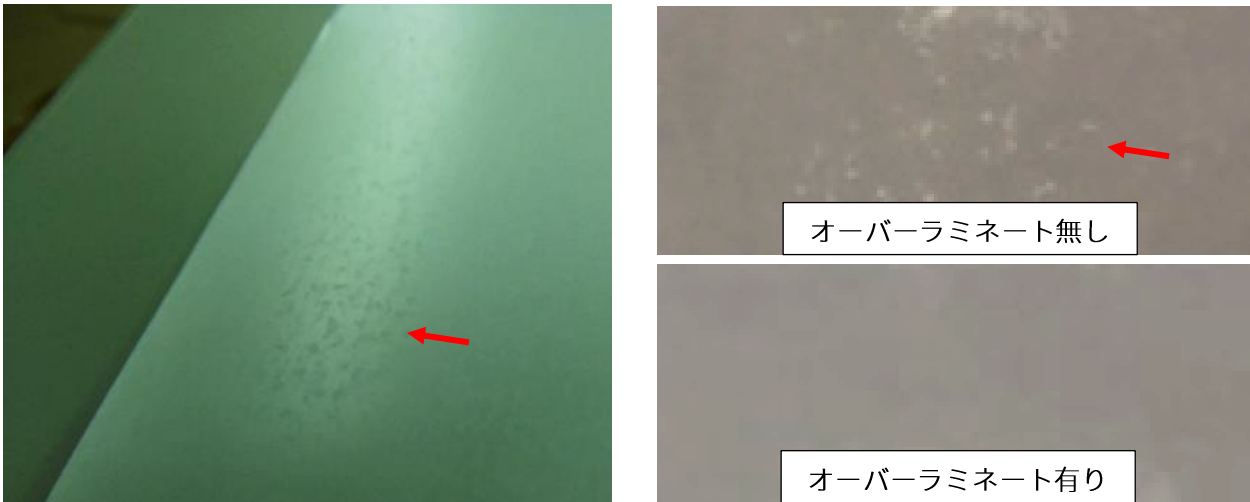


写真1：インプレッションの外観例と、オーバーラミネート後に解消する様子

オーバーラミネート加工

対象フィルム

各ベースフィルムに対応するオーバーラミネートフィルムは以下の表の通りです。

ベースフィルム	対応するオーバーラミネートフィルム	備考
PF000	PF900AP(光沢)	
PF001C	PF901AP(低光沢)	コンプライ TM 機能搭載
PF050	PF950AP (光沢)	不燃認定対応*1
PF051	PF951AP (低光沢)	
PF052	PF953AP (艶消し)	

※1...不燃認定の詳細は、弊社発行の取扱説明書「不燃材料の取り扱い方法」をご確認ください。

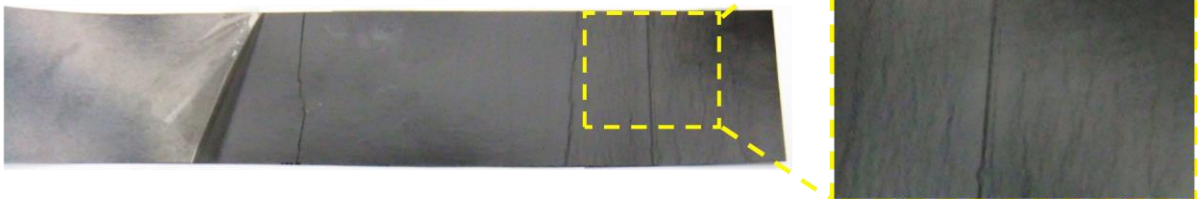
カッティング加工

3MTM スコッチカルTM ペイントフィルムシリーズ カラータイプをご使用いただくことで、カッティング加工を行うことが可能です。詳しい仕様等につきましては、別紙製品説明書をご参照下さい。

カッティング加工する際の注意事項

- カッティング加工の際は、予め製品についている透明アプリケーションテープを剥がした状態でカッティングマシン等にセットしてください。
- PF001Cはカッティング用途に適しておりません。また、PF000, PF050, PF051, PF052はカッティング用途に特化したものではありませんので、事前にカッティング性、ウィード性についてご確認ください。また、細かい切り文字用途には適しません。
- 3M™ スコッチカル™ ペイントフィルムシリーズ カラータイプの切り文字施工時には、3M™ スコッチカル™ 和紙アプリケーションテープ SCPM-44X 「ペイントフィルムシリーズ カラータイプ専用」を推奨致します。
- カッティング作業時に透明アプリケーションテープを剥がした際は、内側にフィルムを曲げたり、アプリケーションテープを剥がした状態で長時間放置したりしないで下さい。フィルム表面にシワ等が発生することがあります(写真2)。

(a) フィルムを内巻きにして発生したシワの外観



(b) 長時間放置した際に発生したシワの外観

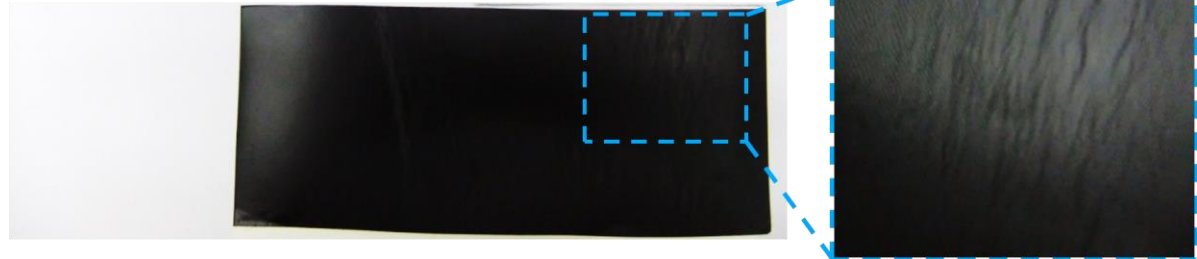


写真2：透明アプリケーションテープを剥がした状態で発生したシワの外観(一例)

備考

- フィルム廃材、剥離紙、アプリケーションテープの廃材は産業廃棄物として処理して下さい。
- この説明書の著作権は弊社に属します、よって、無断複製、引用等を禁じます。
- その他不明な点につきましては、弊社担当販売員にお問い合わせ下さい。

仕様及び外観は予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。本書に記載してある事項、技術上の資料並びに勧告はすべて、当社の信頼している実験に基づいていますが、その正確性若しくは完全性について絶対的な保証はしません。使用者は使用に先立って製品が自己の用途に適合するか否かを判断し、それに伴う危険と責任もすべて追うものとします。売主及び製造者の義務は不良であることが証明された製品を取り替えることだけであり、それ以外の責任はご容赦ください。本書に記載されていない事項若しくは勧告は、売主及び製造者の役員が署名した契約書によらない限りは当社は責任を負いません。

3M、スコッチカルは、3M社の商標です。

3M

スリーエム ジャパン株式会社
コマーシャルグラフィックス事業部
<http://www.mmm.co.jp/cg>

Please Recycle. Printed in Japan.
© 3M 2017. All Rights Reserved.

カスタマーコールセンター

製品のお問い合わせはナビダイヤルで
 **0570-012-123**

8:45～17:15 / 月～金 (土日祝年末年始は除く)
全国どこからでも市内料金でご利用いただけます